

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	防犯ブザー配布事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	学校教育課		包含する細々目	1	10	2	2	10	1	
政策	4暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり											
施策	43 地域安全の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等						
		事業期間	17	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	飯田市立小中学校児童生徒	児童生徒数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			9639	9550			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	新小学校1年生に防犯ブザーを配布し、登下校の安全を図る。 防犯ブザー配布をきっかけとし、学校、家庭、地域での防犯、登下校安全の意識の高揚と取組を図る。	市で配布した防犯ブザーの所有率	18目標	23.06	最終目標	100	
			18実績	23.06	19目標	33.33	↑
			23目標	100	23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	新小学校1年生に防犯ブザーを配布し、登下校の安全を図る。 年次計画で配布することにより、児童生徒全員がブザーを所持し、登下校の際の安全確保の一助となる。 防犯ブザー配布をきっかけとし、学校、家庭、地域での防犯、登下校安全の意識の高揚を図る。 (予算は16年度予算であるが、17年度事業である)	18年度の実績 小学校新1年生に防犯ブザーを配布する。(予算は平成17年度予算) 無償配布対象以外の児童生徒には、学校単位で防犯ブザーを斡旋する。 地域での防犯ブザーの音を実際に聞いてもらい、万一の際の対応を依頼する。 県の「学校安全のための地域連携事業」と合わせ、取組の拡大を図る。 国の「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」を活用し、用品の支給を受ける	ブザー配布数 配布数累計	1120 2220
		19年度計画 小学校新1年生に防犯ブザーを配布する。(予算は平成18年度予算) 無償配布対象以外の児童生徒には、学校単位で防犯ブザーを斡旋する。 防犯ブザーの音をPTA等に聞いてもらい、万一の際の対応を依頼する。	ブザー配布数 配布数累計	1120 3340

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	701	850
	事業費計(A)	701	850
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	701	850

特定財源内訳や補足事項
学校教育振興事業(旧小学校教育振興一般経費)から分割枠22義務教育の充実から43地域安全の推進へ127千円振替

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	児童生徒の登下校の安全確保することにより、犯罪の被害を軽減する	犯罪発生件数	現状値	1259	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	1050
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>全国的に、登下校時の児童生徒をねらった犯罪が増加し、飯田市内においても、女子中学生が首を掴まれるなどの事件が発生した。保護者はじめ、地域住民に登下校時の安全に対する不安が増大した。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>県の「学校安全のための地域連携事業」、国の「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」が17年度実施される。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>平成17年3月議会において、防犯ブザーの配布を要望する質問があった。</p>
---	--	--

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	<p>(評価) 結びつく (その理由)</p> <p>防犯ブザーを携帯することにより、当然登下校安全の一助となる</p>	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	<p>(評価) 余地がある (その理由)</p> <p>配布はあくまできっかけ作りであり、その波及効果を期待するものであるから、一層の意識づくりを行う必要がある。</p>
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>一斉に全児童生徒に配布することが理想であるが、現状からして毎年配布を行う。</p>		廃止・休止した場合の影響はありますか？	<p>(評価) 影響あり (その理由)</p> <p>児童生徒の通学途上での安全対策が社会的課題になっており、休廃止は社会の要請に逆行するものである。社会的批判が出る。</p>
	意図の見直しの必要性はありますか？	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>登下校の安全確保、学校・家庭・地域での取組は必要である</p>		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	<p>(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)</p> <p>登下校の安全確保については、地域防犯団体、PTAの協力を得て行っているが、防犯ブザーの配布は行っていない。ハード、ソフト両面で進めることが必要である。</p>
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	<p>(評価) 必要ある (その理由)</p> <p>飯田市の児童・生徒に関することであるため、市が行う必要がある。</p>		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	<p>(評価) 不可能 (その理由)</p> <p>市の取組により、地域での取組が触発されたものであり、当面は現状維持が必要。防犯ブザーについては、本来保護者負担が妥当であると考え、大きな取組にはつながりにくい。</p>
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>受益者は、児童保護者であり、市の負担には異論はあろうが、年額80万円程度の負担で、家庭での防犯教育、地域での防犯活動など波及効果の方が大きいと妥当であるとする。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 目的見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 別事業に統合</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>取組をPTAから、地域まで広げる。県事業(事例紹介・補助なし)と組合せ、地域と効果的な連携を図る。国事業での防犯用品を活用する。</p>
<p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>防犯ブザーを配布していない学年への防犯ブザー普及をどう進めるか 中学生の対応(特に竜東地区)</p>

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	